

陣痛誘発 陣痛促進 頸管熟化処置について

妊娠10ヶ月頃になると、母体と赤ちゃんの共同作業によりホルモンが分泌されて自然に陣痛が起こります。しかし予定日を過ぎても陣痛が来ないことや、陣痛が来てもうまく分娩まで進まないことがあります。

以下のような場合に陣痛誘発や陣痛促進を行います。

1. 前期破水：陣痛が始まる前に破水することです。
分娩が長期化すると、子宮や赤ちゃんが感染することがあります。
2. 予定日超過：予定日のある程度過ぎると、胎盤の機能が低下してくることがあります。この状態が続くと赤ちゃんの状態が悪くなる可能性があります。また赤ちゃんが大きくなりすぎて難産になることや、羊水が減少することがあります。
3. 微弱陣痛：長時間陣痛の弱い状態あるいは、分娩が進まない状態が続くと母体が疲労してきます。疲労すると赤ちゃんを押し出す力が足りなる場合や、分娩後の出血が多くなる可能性があります。
4. 母体の疾患：内科疾患の増悪、妊娠高血圧症候群、妊娠糖尿病など早期の妊娠の終了が必要であるとき。
5. 赤ちゃんの状態：発育が不良な時、しんどいサインが出た時、羊水混濁のある場合など早期の分娩が必要なとき。
6. その他：無痛分娩、計画分娩など。

上記以外でも母体や赤ちゃんに何らかの異常が見られる、予測できる場合には早期の分娩を考慮します。

陣痛促進薬の種類と使用方法

陣痛促進剤には脳の下垂体から分泌されるオキシトシンの製剤、陣痛とともに体内から産出して子宮の出口を柔らかくするプロスタグランディンの製剤があります。

子宮の状態や母体の合併症など必要に応じて使い分けていきます。

両者を同時に用いることは基本的にはありません。

陣痛促進剤の効果には個人差があります。少しの量ですぐに効き目がある場合や多くの量を使用しても有効な陣痛が来ないこともあります。

経口薬：プロスタグランジン E2

1 時間に 1 錠ずつ最大 6 錠まで内服します。

注射薬：オキシトシン（アトニン）、プロスタグランジン F2 α

母体と赤ちゃんの状態を見ながら速度を調節していきます。

陣痛の様子によっては注射薬の内容を変更することがあります。

合併症

慎重に管理することで分娩誘発の危険性はほとんどないと考えられています。しかし危険性や有害事象をゼロにすることはできません。

子宮収縮剤自体の副作用も起こりえます。一時的に吐き気がする、血圧が上昇することがあります。また発疹や喘息、アナフィラキシーショックを起こすこともあります。このようなアレルギー反応を予知することは困難です。

1. 過強陣痛

少量しか使用していなくても、かなり強い陣痛や子宮収縮作用（過強陣痛）が起こることもあります。そうならないために、継続的に分娩監視装置を装着する必要があります。

2. 子宮破裂

稀ですが子宮収縮に伴い子宮の筋肉の一部が裂けてしまう子宮破裂や、子宮頸管の裂傷が起こることがあります。

3. 胎児機能不全

強い子宮収縮により赤ちゃんの低酸素状態が出現することがあります。

4. 羊水塞栓症

羊水が母体の肺血管に入りショックを起こします。また、分娩後の弛緩出血を起こすことがあります。

ただし、こういった事象は陣痛促進剤を使用していない時でも起こりうる可能性があります。適正な管理のよりの使用では、これらの危険性が自然な陣痛に比べて大きく増すことはありません。

使用中に少しでもおかしいな、急に痛みが増したな、など気になることを感じたらすぐにスタッフにお知らせしてください。

子宮頸管熟化処置

分娩が近くなると子宮の出口が柔らかくなります。これを子宮頸管熟化といいます。何らかの理由でこの熟化が進まない時にこれを促す処置が必要となります。

メトロイリントール

水風船のようなものです。子宮の出口の状態により中に入れる水の量を調節します。子宮の出口が柔らかくなると自然に脱けてきます。

ラミナリア・ラミセル

柔らかいスポンジや海藻でできた細い棒状のものを子宮の出口に入れます。周りの水分を緩やかに吸収して、子宮の出口を広げます。

合併症

子宮損傷による出血、感染などがあります。刺激により破水することもあります。またメトロイリントールが自然脱出した際に臍帯脱出が起こることがあります。その場合、急いで赤ちゃんを出産させる必要があります。

分娩誘発・促進同意書

補足説明内容：別紙参照

いったん同意書を提出しても、本治療を受けることを撤回することが可能です。担当医師、助産師にお申し出ください。

分娩経過中に赤ちゃんや母体の状態より帝王切開になることもあります。その際は別途説明をします。

あきせウイメンズクリニック

院長 明瀬 光里 殿

私は担当の医師より、分娩誘発や促進の必要性・合併症についての説明を受け、質問をする機会を得て、その内容を理解し了承しましたので同意します。また、この同意した医療を行う上で必要な処置、予想されない状況が発生した場合には、それに対する緊急の処置を受けることも併せて同意します。

同意者氏名（患者名）：

代諾者：

同意された日： 年 月 日